

藤井しんすけ 議会ニュース 議会録

令和元年 国際文化観光・スポーツ常任委員会

令和元年 12 月 9 日

藤井委員

最初に、KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019 ですが、本県はどちらかというと比較的早めにベトナムと交流を結んだと承知していますが、その中でベトナムフェスタ in 神奈川について、知事から何度もお話があったと思いますが、実際に開催され、かなり定着してきた印象を受けます。私も以前、愛知県に行ったときは、愛知県もベトナムと非常に懇意にしているという話がありました。どちらが先か後か、上とかということではなくて、実際、どれだけ実のある交流を結び、またベトナムの皆さんも神奈川の県民の皆さんも、交流ができることが一番だと思いますが、そういった中で神奈川から今度はベトナムのハノイで交流の場を持てたことは非常によいことだと思っております。その中で、報告もいただきましたが、人材育成に関するMOUも締結したということでした。

ベトナム・ハノイでのイベント、KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019 は昨年引き続き開催したということですが、ことしも引き続き開催するに至った経緯をお聞きします。

国際企画担当課長

昨年は日越外交関係樹立 45 周年という節目の年でありましたので、記念すべき年を盛り上げ、これまで培ってきた両地域のきずなをさらに強めていくために、ベトナム・ハノイにおいて神奈川県魅力を発信するイベントを実施しました。ことしの開催につきましては、昨年実施したイベントが考えていた以上に好評だったので、本県としてはこのイベントを継続することで、ベトナムにおける本県の知名度、認知度のさらなる向上を図り、より深い関係を構築できると考えました。また、駐日ベトナム大使館から、引き続きハノイでイベントを開催することで、ハノイ市や中央政府とより密接な交流を行ってほしいと助言を受けまして、昨年の開催に引き続き、ハノイ市でイベントを開催しました。

藤井委員

大変好評で、またことしもということですが、ことしのKANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019 の概要について伺いたいと思います。

国際企画担当課長

11 月 16 日土曜日から 17 日日曜日に 2 回目となるKANAGAWA FESTIVAL in HANOI を昨年に引き続きハノイ市のリー・タイ・トー公園で実施いたしました。神奈川県魅力を PR するため、小田原ゆかりの風魔忍者パフォーマンスショーや日本の遊び体験コーナー、また浴衣着つけ体験ワークショップなどを実施し、昨年を上回る約 7 万 5,000 人の方の参加を数え、盛況のうちに終えることができました。あわせて 11 月 18 日月曜日にハノイ市内のホテルにおいて、神奈川投資セミナーを開催しました。セミナー終了後には交流会を開催し、本県への進出意欲を持つベトナム企業等との意見交換を実施いたしました。

藤井委員

県がハノイでベトナム政府とMOUを締結したと聞いておりますが、この内容について教えてください。

国際企画担当課長

ベトナム政府と神奈川県双方において、介護や看護など相互に有益な分野における技術

者、技能実習生、特定技能者などの派遣及び受入促進に向けた支援をしていくもので、ベトナム労働・傷病兵・社会省とMOUを締結いたしました。

藤井委員

その中で人材育成のMOUということで、ベトナムと締結するのは神奈川県が初めてなのか、また、本県のMOUに特徴的な点があったら伺いたと思います。

国際企画担当課長

人材育成に係るベトナムとのMOUは、ほかの自治体でも締結をしております。具体的には横浜市が介護分野において、平成30年7月にホーチミン市と、長崎県がことし10月にカンナム省とMOUを締結しています。また、千葉県がことし3月に、長野県が8月に、茨城県が11月に人材育成に係るMOUを労働・傷病兵・社会省と締結しました。

本県のMOUですが、働くベトナム人本人だけではなく、その家族に対しても各種相談や日本語教育など、生活支援を行うことをうたっておりまして、こうした取り組みを覚書で示したのは全国でも初めてです。

藤井委員

家族も対象としているところが本県の特徴ということですが、このMOUを締結したことで、今後どのように展開していく考えなのか伺います。

国際企画担当課長

今回のMOUは包括的なもので、まずはその中から介護分野に係る支援を先行することとしています。今後はそれぞれの業界団体等の意向等を確認しながら、人材受入に関する実施計画等、具体的な取組内容を作成し、ベトナム労働・傷病兵・社会省と協議していくこととなります。

藤井委員

人材不足と言われている介護部門で、非常に大事な観点だと思います。このKANAGAWA FESTIVAL in HANOIの開催を通じてどういった成果があり、どのように評価されているかを伺いたと思います。

国際企画担当課長

昨年より、ベトナムフェスタ in 神奈川と、KANAGAWA FESTIVAL in HANOIの二つのイベントを連携させ、神奈川とベトナムの相互交流のさらなる活性化を図ってまいりました。その中でイベントへの協力に端を発し、本県との文化交流の拡大等を期待しているバクニン省といった地方自治体との関係構築も図られました。また人材育成に係るベトナムとのMOUの締結による具体的な政策連携も始まったことにより、本県とベトナムとの交流も新たなステージに入ったと考えております。

さらに、これまで交流を通じて構築してきた人的ネットワークの拡大により、日本に興味のあるベトナム大手企業から本県への投資など、さまざまなアプローチも始まっています。今後もイベントを継続するとともに、イベントを通じて築いたベトナムとの友好関係を県内へのインバウンドやベトナム企業の進出、ベトナムからの労働人材の確保など、県の政策の推進に生かせるように取り組んでいきたいと考えております。

藤井委員

神奈川県とベトナムの関係の強化をしていくことで二重、三重にいい形で進んでいると思います。今後ますます人材の交流が来て日本にベトナムの方も来られると思うのですが、一つ心配しているのは、現状、外国籍の方々の相談窓口が、開設はされているのですが、働いている方々も、勤務時間以外の休憩中にでも相談できる体制も組んでいただき、さらにベトナムとの連携、人材の確保をお願いしたいと思います。

次に、先ほど、スポーツ局長から、神奈川県障がい者スポーツ協会（仮称）の設立につ

いて報告をいただきました。こちらに関しては、我が会派もずっと追いかけてきたことでもあるので、今回、取り上げさせていただきたいと思います。報告を聞いて、協会の設立で本県の障害者スポーツ振興にはいよいよ大きな拍車がかかって、非常によい方向に向かっていると評価したいと思います。その中で、この障がい者スポーツ協会の説明に関して、何点か伺います。報告の中で、本県にはこれまで障害者スポーツの中心となる団体がなかったということですが、他県における障害者スポーツ協会等の設置状況はどうなっているのでしょうか。

スポーツ課長

他県における状況ですが、都道府県により、団体の法人としての性格、あるいは実施している事業の内容等にかかわる部分もありますが、障害者スポーツの中心となる役割を担っている団体につきましては、本県と愛知県、高知県を除く 44 の都道府県に全て設置されております。

藤井委員

これまでないほうが珍しかったということなのですが、これまで障がい者スポーツ協会がなかったことで、どういった課題があったのでしょうか。また、今回この協会が設立されることにより、本県の障害者スポーツにとって、どういったことが期待できるのか、その二つについて伺います。

スポーツ課長

本県におきましては、障害者スポーツの中心となる団体がなかったことから、これまで個々の競技団体等が普及啓発や情報収集、選手育成・強化などを実施しておりました。そのため、障害者スポーツに関する情報の発信が難しいことや、障害者スポーツの理解促進に向けた普及活動の広がりが十分にできないこと、あるいは個人や団体の活動の成果や課題、ノウハウが共有できないことが課題となっておりました。

今回、本県におきます障害者スポーツの中心となる協会が設置されることによりまして、これまで県内に競技団体がなく、個人的な活動をしてきた選手やあるいは競技団体同士が連携を持つことが可能になりますので、障害者スポーツに関するさまざまな普及啓発活動、あるいは競技団体の育成支援、選手の競技力の向上など、スケールメリットを生かした本県の障害者スポーツを大きく推進できると考えております。

藤井委員

説明のあった中で、まずは政令市を除く県域を対象ということですが、政令市域はどのようになっているのか、政令市域との連携をどのように図っていくのか伺います。

スポーツ課長

障害者スポーツにつきましては、これまでどちらかというと福祉行政の取り組みとして、障害者の社会参加という形で進められてきた経緯があり、政令市が県と対等の場でそれぞれ独自の取り組みを進めまいりました。例えば横浜市では、障害者スポーツセンター横浜ラポールが中心となりまして、全国的にも先進的な取り組みをこれまで進めてまいりました。また、川崎市におきまして、平成 27 年度に川崎市障害者スポーツ協会を設立して障害者スポーツに取り組んでいるところです。そういったこともあるので、県障がい者スポーツ協会の設置に当たりましては、まずはこうした政令市の既存の取り組みは尊重することといたしまして、政令市を除く県域を対象に団体の設立や運用支援を行うことを考えております。また、委員から御指摘のありました連携は必要なもので、政令市との連携あるいは情報共有については、県障がい者スポーツ協会設立とともに、政令市との連絡会を設けまして、連携を密にしてまいりたいと考えております。

藤井委員

ぜひ、連絡会で連携をとっていただきたいと思います。この協会設立の検討の中で、障害者スポーツ競技団体、アスリートの皆さん、さまざまなお立場の方がいらっしゃると思いますが、そういった方々の意見を伺い、意見を反映できているのか伺います。

スポーツ課長

協会設立に係る検討の過程で競技団体に関するアンケートを実施いたしました。その結果、障害者スポーツの中心となる団体がないことによりまして、先ほども課題として上げましたが、障害者スポーツに関する情報発信や障害者スポーツの理解促進に向けた普及活動の広がりができなかつたこと、スポーツ施設等で障害者がスポーツに取り組みやすい環境が整っていない、個々に団体が活動していたので、団体ごとの活動成果、課題の共有が難しいといった声が多く上がっていました。これらの意見につきましては、十分に反映した上で協会設立に向けて準備を進めていきたいと考えています。

藤井委員

御報告をいただいておりますが、発起人会に続いての設置ということですが、この発起人会について、どういった構成で、設立に向けてどのようなことを行うのか、もう少し詳しく教えていただければと思います。

スポーツ課長

今回設置する神奈川県障がい者スポーツ協会発設立起人会ですが、設立に向けた基本方針を策定した障がい者スポーツ協会設立準備会の構成員の方々を中心として、さらに協会の設立後も見据えながら、障害者スポーツに造詣の深い学識者等を構成員として設立される予定です。また、この発起人会におきましては、法人としての設立に向けまして、設立登記に必要な定款の決定やあるいは法人登記設立後の事業計画案などの策定が行なわれる予定です。

藤井委員

この協会の会長や副会長などの人事ですが、発起人会の中で検討されるのか伺います。

スポーツ課長

協会の人事ですが、平成31年3月に設立準備会が作成いたしました基本方針の中では、協会の代表としてふさわしい人物像として、障がい者スポーツへの理解や経験を考慮するとともに、熱意を持って協会の運営に主体的に関わり、神奈川県内の障がい者スポーツの発展に尽力できる方としております。協会設立時におきます会長、副会長などの役員につきましては、実際には発起人会の中で具体的な検討が行なわれることになると考えております。また、理事等につきましても協会運営の中心となる方々なので、これまでの経緯を踏まえまして、発起人会構成員の中から就任していただくことが望ましいと考えております。

なお、協会が設立した後に、また必要に応じまして、理事等役員等は追加されるものと考えおります。

藤井委員

発起人会が設置ということで、人事も大体絞られつつあるのだろうと思いますが、それから考えると設立までいよいよ秒読みとなってきました。県として、今後新たに障がい者スポーツ協会が設立されるということで、今後どのように障害者スポーツの推進を図っていくのか、スポーツ振興担当部長にお話を伺いたしたいと思います。

スポーツ振興担当部長

県に障がい者スポーツ協会が設立されることにより、県内の個人的な活動をしてきた選手や競技団体などの方々にとっては情報共有が図れることでは、スケールメリットを生か

して連携した活動が図ることが可能になり、障害者スポーツを支える環境の整備につながるものと考えております。

例えば、これまで県が主体となって教育力の向上やアスリートの発掘事業などに取り組んでまいりましたが、こうした事業も協会が主体となって新たな形で展開していくことが期待できますし、かながわパラスポーツ推進宣言の理念の普及に向けて、県が開催しております、かながわパラスポーツフェスタのようなイベントにつきましても、これまで以上に幅広い連携が図れることで、障害者スポーツに対する理解の促進が図れ、また、障害者スポーツを支える人材の育成にもつながると考えております。さらに、協会が設立されまして、主体的に充実した取り組みが進められていくことで、新たな競技団体の設立や、市町村における障害者スポーツの中心となる団体の設立にも結びついていくと思っており、そういった期待を持っています。

来年4月には、障害者スポーツを推進するための機能などを備えました県立スポーツセンターがオープンするので、障害者スポーツの推進に向けて新たに設立される協会としっかりと連携して、これからも取り組んでまいりたいと考えております。

藤井委員

我が党としても、ずっと追いかけていたことなので、いよいよ設立され、大変うれしく思います。協会設立が起爆剤として、神奈川県が障害者スポーツの振興のために、ぜひ頑張ってくださいと思います。抜かりなく準備怠りなく、設立に向かって頑張ってくださいと思います。最後の最後まで、設立にかかわってくださった皆さん、関係者の皆さんの十分意見を聞いていただいて、本当にいいスタートを切っていただきたいことを要望して、質問を終わります。